



2018年3月28日

～池上線旗の台駅改良工事・池上駅開発計画と連動
ReBuilding Center JAPAN 協力による古材おすそ分けなどの活用イベントも実施～
「駅古材活用プロジェクト」を実施します！

東京急行電鉄株式会社

当社は、池上線旗の台駅改良工事「木になるリニューアル」、池上駅開発計画と連動して、既存の駅に使用している木材(以下、古材)を駅および沿線で活用する「駅古材活用プロジェクト(以下、本プロジェクト)」を実施します。

築66年、築96年の旗の台駅、池上駅では、それぞれ2019年春、2020年の完成を目標に、多摩産材などを活用した駅改良および駅開発工事を実施しています。本プロジェクトは、駅利用者や地域の方とともに育んできた、歴史ある木造駅の記憶を未来に継承することや、工事に伴う環境負荷低減(廃材処理時のCO2削減)に寄与することを目的としています。両駅において、開業時から使用されているホーム上の木製ベンチやホーム屋根などの古材を、新たな駅施設にも活用していきます。また、2018年6月には、池上線沿線にお住まいの方や店舗などの事業者の方を対象に、駅施設の古材をおすそ分けするなどの活用イベントの実施を予定しています。

なお、古材活用にあたっては、廃材に新たな価値を付加して再利用することで、地域資源・経済の循環を促す活動を行う「ReBuildingCenter JAPAN(リビルディングセンタージャパン)」の協力のもと、古材活用ワークショップや活用方法のコンサルティングなどを行う予定です。

当社は2017年9月から、池上線において生活に根付いた地域資源を「生活名所」として選定し、魅力を掘り起こす「生活名所プロジェクト」を実施しており、10月9日に開催した「開通90周年記念イベント10月9日池上線フリー乗車デー」は大盛況となるなど、さまざまな形で沿線の魅力を発信しています。2018年4月から始まる中期3か年経営計画の重点施策の1つにも「サステナブルな街づくり」を掲げており、今後も、池上線沿線の魅力を生かした取り組みを継続的に実施していくことで、沿線の魅力を高めていきます。

本プロジェクトの概要は、別紙のとおりです。

※本事業の最新情報については、随時弊社WEBサイト「いい街いい電車プロジェクト<http://ii.tokyu.co.jp>」にアップします。



池上駅ホームの木製ベンチ



ホーム屋根や駅舎に使用されていた古材

以 上

【別紙】

古材活用プロジェクト概要

池上線旗の台駅改良工事「木になるリニューアル」および池上駅開発工事に伴い、池上線の歴史や記憶の継承、環境負荷低減を目的に、駅舎およびホーム屋根などに使用してきた古材を新たな形で活用します。

(1) 古材の概要

- ・古材活用元：池上線旗の台駅および池上駅の駅舎およびホーム上屋根など
 - ・古材発生量：約200m³(直径30cm 長さ4mの丸太約555本ほど)
- ※古材活用量については、古材劣化・損傷や保管場所などの状況により変動します。

(2) 駅への古材活用

両駅の、開業時から使用されているホーム上の木製ベンチやホーム屋根などの古材を、新たな駅施設にも活用していきます。

※復元予定時期：工事の進捗に併せて設置



築66年の旗の台駅



築96年の池上駅

(3) 沿線地域への古材活用

池上線の駅への思い出や、駅古材の活用イメージを持つ方(主に沿線地域の方を想定)をWEBなどで募集し、古材を地域の方におすそ分けする活用イベントを実施します。

- ・実施時期：2018年6月(予定)
 - ・配布対象人数：約30名程度を想定
- ※詳細は決まり次第、ホームページなどでご案内します。



(4) ReBuildingCenter JAPAN概要

リビルディングセンタージャパンは長野県諏訪市に2016年9月にオープンした建築建材のリサイクルショップです。“ReBuild New Culture”を理念に掲げ、“次の世代に繋いでいきたいモノと文化を掬い上げ、再構築し、楽しくたくましく生きていける、これからの景色をデザインしていきます。古材を使用した空間や家具のデザイン・制作も行い、日本の古材をもっと循環させるための活動をしています。

- ・代表取締役：東野 唯史
 - ・事業内容：古材を使用した空間デザイン、家具や建具のデザイン・制作、リサイクルショップ・カフェ運営等
- ・URL：<http://rebuildingcenter.jp/>



リビルディングセンタージャパン主催ワークショップの様子

(参考)

1. 池上線沿線駅舎のリニューアルについて

(1) 旗の台駅改良工事「木になるリニューアル」概要

池上線戸越銀座駅リニューアル「木になるリニューアル」に引き続き、多摩産材を活用して築66年の老朽化したホーム屋根、待合室をリニューアルします。また、今後は駅舎の改修も予定しています。

○着工：2017年11月

○竣工予定：2019年春頃



▲旗の台駅改良工事 改修後イメージ

(2) 池上駅開発計画(駅舎改良・駅ビル開発)概要

築96年の駅舎改良では、現在北側に1カ所ある改札口を橋上化し、南口を新設し、改札内の構内踏切を廃止します。駅ビルは5階建てとし、大田区立池上図書館を駅ビルに移転し整備すると共に、保育園、店舗などの導入を検討しています。建物のデザイン監修は株式会社 E.A.S.T.建築都市計画事務所が手がけ、外観には、740年以上の歴史をもつ池上本門寺を中心とした門前町の歴史性をデザインに取り入れ、駅と街の一体感の形成を目指します。

○用途：駅舎、物販店舗、飲食店舗、サービス店舗(保育所など) ○構造・階数：鉄骨造5階建

○着工：2017年6月

○竣工予定：2020年9月



▲駅外観イメージ



▲北側の駅出入口イメージ

2. 「生活名所」プロジェクト概要

商店街をはじめとした地域の方や、品川区、大田区などの行政関係者と共に池上線の魅力を一緒に考え、つくり、実践する“まちづくり”プロジェクトです。当社では、地元関係者の方などへのヒアリングや調査を行い、両区とともに、池上線の魅力を「人々のつながりや温もりを感じる場所など、生活に根付いたもの」と結論づけました。この魅力を多くの方に認知していただくため、「①人の暮らしに根付いていること“ヒューマンスケール”」「②作り手を感じられること“クラフトマンシップ”」「③つながりをつくっていること“コミュニティ”」「④だれでもウエルカムであること“オープンマインド”」「⑤地域を愛し、愛されていること“ローカル”」の5項目をブランドコンセプトに位置付け、該当するものを「生活名所」として、その魅力を継続的に発信していきます。

<開通90周年記念イベント：10月9日池上線フリー乗車デーについて>

2017年10月9日(月・祝)に「開通90周年記念イベント10月9日池上線フリー乗車デー」と題し、池上線を1日無料で巡っていただくイベントを実施しました。池上線沿線の各所でさまざまなイベントを実施し、多くの方に地元住民から愛される商店街や、豊かな自然、歴史・名所史跡などの、池上線沿線ならではの魅力に触れていただきました。

・改札通過人数：569千人

※過去3年の同日平均153千人：通常の約4倍弱

・フリー乗車券の配布枚数：190,764枚

その他詳細は専用サイト(<https://seikatsumeisho.com/>)に掲載しております。

